



平成 30 年 9 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 土屋ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 土屋 昌三
 (コード：1840 東証第2部・札証)
 問合せ先 取締役総合企画部長 前川 克彦
 (TEL. 011-717-5556)

通期業績予想の修正及び役員の変動に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 9 月 14 日付の「平成 30 年 10 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、平成 30 年 10 月期連結業績予想(平成 29 年 12 月 15 日公表)について、一旦「未定」としておりましたが、本日下午記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 10 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	24,750	△495	△435	△445	△17.81
増 減 額 (B - A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(参考)前期連結実績 (平成 29 年 10 月期)	24,488	58	165	66	2.65

2. 修正の理由

通期の連結業績予想につきまして、平成 30 年 9 月 5 日に北海道付近を通過した台風 21 号及び翌日 9 月 6 日に発生した「北海道胆振東部地震」の影響により、道内全域の停電、建設工事及びプレカット工場の稼働を一時中断したこと、建設資材等の物流遅延、お客様の住宅復旧工事を優先するなど施工遅れによる完成引渡の棟数が 35 棟の減少及びリフォーム工事の遅延等の予想から住宅事業の売上高、リフォーム事業の売上高が当初予想(平成 29 年 12 月 15 日公表)を下回る見込みであります。不動産事業においては、自社仕入による土地及び中古住宅の販売が、当初計画より増収予想ではありますが、売上高全体では、当初予想(平成 29 年 12 月 15 日公表)を下回る見込みであります。

売上総利益につきましては、住宅事業が注文住宅の棟数の減少、相対的に利益率が低い分譲住宅及び住宅用地、特殊建築物の構成比が増加したことに加え、建築資材の値上がり、更に震災等の影響により売上総利益率が 3.5 ポイント減少する見込みとなりました。リフォーム事業においても同業他社との価格競争等により売上総利益率が 2.7 ポイント減少する見込みであります。また、震災等の影響による売上高の減収により当初計画していた利益の確保が困難となる予想であります。販売費及び一般管理費につきましては削減に努めてまいり

ましたが、営業損失 495 百万円、経常損失 435 百万円、親会社株主に帰属する当期純損失 445 百万円となる見込みとなりました。

したがって、平成 30 年 10 月期の連結業績予想について、「平成 30 年 10 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」においては一旦「未定」としておりましたが、上記記載のとおり見通しがたったことから、修正を行うことといたしました。

なお、期末配当予想につきましては従来予想（1 株当たり 5 円 00 銭）から変更ありません。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

3. 役員の異動

連結業績予想の大幅な下方修正という不本意な結果を真摯に受け止め、その経営責任を明確化させるため、以下のとおり役員の異動を実施いたします。

株式会社土屋ホールディングス

(平成 30 年 9 月 28 日付)

氏 名	新 役 職 名	旧 役 職 名
大吉 智浩	代表取締役専務	代表取締役副社長

以 上